



今年も残すところ後2か月ですね。10月のインフルエンザ発生数は昨年に比べ減少しているようですが、油断はできません。うがい・手洗い・マスクの着用を、しっかりと行いましょう！

★今月のトピックス～带状疱疹について

【原因】

子供の頃に感染した水ぼうそう(水痘)のウイルスが、体内の神経節に潜んでいて、加齢やストレス・過労などが引き金となって免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが再び活動をはじめ、神経を伝って皮膚に炎症を起こしたものを带状疱疹と言います。発生率は加齢ともに増加し、特に50歳を超えると急増し、女性に多いのが特徴です。

【症状】

身体の左右どちらか一方に、赤い斑点と小さな水ぶくれが、まとまって帯状に現れる病気で、痛みを伴うのが特徴です。皮膚の症状が出る前に、ピリピリした痛みを感じる場合もあります。

皮膚症状は①赤い斑点と水ぶくれから②びらん(ただれ)となり、それが③かさぶた(結痂)となってきます。これが剥がれ落ちるまで約3週間かかります。

皮疹が改善した後に、疼痛が残る場合(带状疱疹後神経痛)があります。

皮疹が広範囲であったり、治療の開始が遅れたりすると、神経の炎症が変性として残るために、痛みが継続します(約3か月～半年)。

症状出現後早めに治療を開始することで、防ぐことができます。

【治療】

①注射:皮膚や神経の炎症をとるものです。治療開始時は週に2回の注射が必要です。

②内服薬:抗ウイルス剤・痛み止め・胃薬を1週間処方します。その後は症状を見ながら内服薬を変更します。

③外用薬の塗布:一つは抗ウイルス剤、もう一つは皮膚のびらんを改善する薬です。



【予防】

50歳以上の方には、带状疱疹の予防接種もあります。詳しくはスタッフまでお声掛けください。



★ お知らせ

インフルエンザの予防接種はお済ですか？

この冬はコロナ感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されています。

インフルエンザは予防接種により、ある程度予防ができます。かかったとしても症状が軽度に抑えられます。早めの接種をお勧めします。

予防接種は日にちと時間予約制です。一日の予約は基本的に10人までです。

自治体の補助のない、一般の方は3000円(税込)です。予約お待ちしております。